※令和４年度以降入学生用

学校番号	203

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「現代の歴史総合」みる・読みとく・考える　（山川出版社）						
副教材等	「新詳　歴史総合」（浜島書店） 「現代の歴史総合　要点整理テスト」（山川出版社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史総合では、人間の歩みについて、近代・現代に焦点をあて、世界とそのなかにおける日本の歩みと関連付けながら学習します。ここ数百年の歴史を考えてみると、日本の歴史は海外の動向を無視して理解することはほとんど不可能です。そして、世界とのつながりはますます深くなっています。過去の歴史、とりわけ人類の歴史の最も新しい部分を学ぶことは、将来のより良い日本あるいは世界をつくっていくことにつながるはずです。皆さんが歴史総合を学ぶことで平和で民主的な国家、世界を形成する一員としての自覚を持ち、その資質・能力を身につけることを期待します。

２　学習の到達目標

近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育てる。そのために諸資料を読み取る、歴史事象を多面的・多角的に考察する、歴史的な課題を解決する構想をする力を養い、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史が理解できる。 諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能が身についている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを多面的・多角的に考察できる。 歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力が身についている。 考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論ができる。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究・解決する態度が身についている。 多面的・多角的な考察や深い理解を通して、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さが自覚できている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	歴史の扉	オリエンテーション 歴史の特質と資料:歴史資料とは何かを理解し、その重要性を考える	a: 資料に基づいて歴史が叙述されていることが理解できる。 b: 複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現できる。 c:教科書や資料集などの歴史資料に興味を持つ	確認テスト 定期考査	定期考査	振り返りシート
	近代化と私たち	グラフ・写真などの資料から「近代化」とは何か理解し、考える	a:資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能が身についている。 b:近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現できる。 c:資料を読んでもっと知りたいと思ったこと、疑問に思うことを挙げている。	定期考査	定期考査 提出課題	振り返りシート
	結びつく世界と日本の開国	1 18 世紀の東アジアにおける社会と経済 2 貿易が結んだ世界と日本 3 産業革命 4 中国の開港と日本の開国	a:18 世紀のアジアの経済と社会、工業化と世界市場の形成が理解できる。 b:産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響に着目し、アジア諸国と欧米諸国の関係の変容を考察、表現できる。 c:日本の開国と世界を意欲的に結び付けて追及しようとしている。	定期考査	定期考査	振り返りシート 提出課題
	国民国家と明治維新	1 市民革命 2 国民国家とナショナリズム 3 明治維新 4 日本の産業革命 5 帝国主義 6 変容する東アジアの国際情勢 7 日露戦争と東アジアの変動	a:立憲体制と国民国家の形成、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容が理解できる。 b:政治改革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多角的に考察・表現できる。 c:国民国家の形成や明治維新が近代化に与えた影響を意欲的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査	振り返りシート 提出課題

※令和４年度以降入学生用

2学期	国際秩序の変化や大衆化と私たち	20世紀に生じた2つの世界大戦が国際社会に与えた影響や大衆の変化をグラフ・写真などの資料から理解し、考察する。	a:資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能が身についている。 b:国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現できる。 c:資料を読んでもっと知りたいと思ったこと、疑問に思うことを挙げている。	定期考査	定期考査 提出課題	振り返りシート
	総力戦と社会運動	1 第一次世界大戦の展開 2 ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭 3 ヴェルサイユ体制とワシントン体制 4 世界経済の変容と日本 5 アジアのナショナリズム 6 大衆の政治参加 7 消費社会と大衆社会	a:総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制と、大衆社会の形成と社会運動の広がりが理解できる。 b:第一次世界大戦の性格と惨禍、国際協調体制、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動の関連を多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c:第一次世界大戦や国際協調体制、大衆化について興味を持ち、主体的に追究する姿勢を見ることができる。	定期考査	定期考査	振り返りシート 提出課題
	経済危機と第二次世界大戦	1 世界恐慌の時代 2 ファシズムの伸長と共産主義 3 日中戦争への道 4 第二次世界大戦の展開 5 第二次世界大戦化の社会 6 国際連合と国際経済体制 7 占領と戦後改革 8 冷戦の始まりと東アジア諸国の動向 9 日本の独立と日米安全保障条約	a:国際協調体制の動揺、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰が理解できる。 b:各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢の関係などを多面的・多角的に考察し、表現できる。 c:世界恐慌以後の国際協調体制の動揺から第二次世界大戦後の国際秩序、その中での日本の対応に興味を持ち、主体的に追究する姿勢を見ることができる。	定期考査	定期考査	振り返りシート 提出課題

※令和４年度以降入学生用

	グローバル化と私たち	冷戦と国際関係、人と資本の移動、高度情報通信、食料と人口などの現代の課題に関して、グラフ・写真などの資料から理解し、考察する。	a:資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能が身についている。 b:グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現できる。 c:資料を読んでもっと知りたいと思ったこと、疑問に思うことを挙げている。	定期考査	定期考査 提出課題	振り返りシート
2学期・3学期	冷戦と世界経済	1 冷戦下の地域紛争と脱植民地化 2 東西両陣営の動向と 1960 年代の社会 3 軍拡競争から緊張緩和へ 4 地域連携の形成と展開 5 計画経済とその波及 6 日本の高度経済成長 7 アジアのなかの戦後日本	a:第二次世界大戦以降 1960 年代までの、国際政治の変容や世界経済の拡大、経済成長下の日本の社会が理解できる。 b:地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソ連の政策転換の要因、冷戦下の世界経済、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現できる。 c:冷戦中の国際政治や世界の経済の動向、日本の経済成長などに興味を持ち、主体的に追究しようとする姿勢を見ることができる。	定期考査	定期考査	振り返りシート 提出課題
3学期	世界秩序の変容と日本	1 石油危機 2 アジア諸地域の経済発展 3 市場開放と経済の自由化 4 情報技術革命とグローバリゼーション 5 冷戦の終結とソ連の崩壊 6 現代の東アジア 7 東南アジア・アフリカ・ラテンアメリカの民主化 8 地域統合の拡大と変容 9 地域紛争と国際社会 10 現代と私たち	a:1970 年代以降現在までの市場経済の変容と課題、冷戦終結後の国際政治の変容が理解できる。 b:市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現できる。 c:1970 年代以降現在までの国際政治の変容や経済のグローバル化に興味を持ち、現代の諸課題と結び付けて、主体的に追究しようとする姿勢を見ることができる。	定期考査	定期考査	振り返りシート 提出課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度